

# 楽蔵

新店舗を  
紹介します

中心市街地の商業施設「楽蔵」(中町)に、新たに3店舗がオープンしました。出店者にお店について聞きました。



## 呑み屋 ほの字

- 営業時間 17:00~22:00
- 定休日 水曜日
- 電話 0248-21-8383
- 店主名 須藤恭子さん



### Interview



▲おでん5個500円(税別)、3個300円(税別)



▲手作りがんも480円(税別)

### ▷お店の紹介をお願いします

これからの季節にぴったりの「おでん」と、揚げたてを味わえる「手作りがんも」がオススメです。そのほか「厚焼き玉子」「ハムかつ」といった定番のおつまみや、日替わりのオススメ品もあります。

蔵のある「楽蔵」の雰囲気を楽しみながら、落ち着いてお酒と料理を楽しむことができるお店です。

### ▷店長から一言

皆さんが楽しく過ごせる場所を作りたいと思い、出店しました。1人や少人数のお客さんも多いので、ぜひ一度、来てみてください。

## 炭火串焼と創作料理 曾良

- 営業時間 17:00~23:00
- 定休日 水曜日
- 電話 0248-21-7690
- 店主名 三國友樹さん



### Interview



▲つくね(月見) 400円(税別)



▲ホルモンピリ辛炒め 750円(税別)

### ▷お店の紹介をお願いします

手間を惜しまず、一から作っている「つくね」「焼き鳥」などの串焼きと「ホルモンピリ辛炒め」がオススメです。ほかにも、一品料理から食事まで、幅広いメニューを用意しています。

また、県内・市内のおいしい地酒も多数そろえており、料理とあわせてお楽しみいただけます。

### ▷店長から一言

飲食業に携わるのが長年の夢でした。串焼きは一本一本、丁寧に焼き上げています。ぜひ食べに来てください!

## 大衆ビストロ Vamos 肉酒場

- 営業時間 ランチ 11:30~14:30  
夜の部 17:00~22:00
- 定休日 月曜日
- 電話 0248-21-9073
- 店主名 田中健一さん



### Interview



▲清流高豚肩ロースソテー1,600円(税別)



▲釜揚げシラスのアヒージョ780円(税別)

### ▷お店の紹介をお願いします

20年間、東京のイタリア料理店で勤務していました。肉料理を中心に、秋にはジビエ料理も提供する予定で、地元食材の「清流高豚肩ロースソテー」がオススメです。ランチには、3日間仕込んだこだわりのカレーを提供しています。

### ▷店長から一言

「Vamos」とはスペイン語で「行くぞ!」という意味です。お肉とお酒で「明日の活力」を皆さんに蓄えてもらいたいです。今後は、市内にデザートやカレーの専門店を出店したいと考えています。

東  
久野宏さん  
令和2年4月から  
活動中



▶Twitter  
「白河市地域おこし  
協力隊 (ひがし)」



# 地域おこし協力隊

全国各地で地域の活性化に取り組んでいる「地域おこし協力隊」。現在、本市では2人の方が活動しています。それぞれの取り組みなどを紹介します。  
●本庁舎企画政策課 内2324



表郷  
飯塚俊輔さん  
平成30年7月から  
活動中

▶ブログ  
「Go!表郷!」



▶Twitter  
「国木田トッポ@  
地域おこし協力隊」



## 活動を経て定住へ

1年目は、SNSで情報発信をしながら、地域のイベントに積極的に参加し、地域の事を知り、自分を知ってもらうことから始めました。

2年目は「SNSだけでは高齢者に見てもらえない」と考え「地域おこし協力隊ジャーナル」を毎月1回発行し、紙媒体での発信も始めました。

また、子どもたちにプログラミングを教えながら、新しい居場所ともなる「CoderDojo白河」の活動を知り、手伝い始めました。

## 地域の相談に知識をいかす

現在は、最初の年として、地域を知ることに重点を置いています。新型コロナウィルス感染症の影響はありますが、できる範囲で活動しています。また、農業に興味があり、農家での農作業体験などを通じて学んでいます。

私の得意分野は、インターネットを使った情報発信です。これまで、地域の方からの相談に応じて、オンラインでの味噌蔵見学や、盆踊りのインターネット配信などに携わりました。今後も、こうした技術を活用していきたいです。

## さらに、表郷小の高学年にプログラミング体験教室、表郷中では放課後の時間を使って学習フォロワーを実施し、地域の子もたちと関わる機会もいただきました。

そのほか、表郷地域の美しい自然を上空から撮影できるように、ドローンを導入しました。その後、令和元年台風19号による被害が発生。被害状況を空撮し「広報しらかわ」にも画像を提供しました。

3年目の今、白河に定住したいと考えています。地域おこし協力隊1の任期が終わった後も、これまでの積み重ねを次の仕事にいかしていきたいと思っています。

## 「お試し居住」をきっかけに

白河市との最初の接点は、東地域で「暮らし体験(お試し居住住宅)」を利用したこと。他県でも利用しましたが、地域の人からおいしい野菜をいただいたり、一緒に食事を楽しんだり、コミュニティを一番多く取る事ができたのが白河市でした。

「お試し居住」の経験をきっかけに、少しずつ、地域の人たちとの関係を築いて、移住を決めました。移住後にできることを探している中で「地域おこし協力隊」の制度を知り、応募しました。

## 「共感」を大切に

表郷の人たちは、静かな方が多いと感じています。でも、何かに取り組もうとすると「それ、いつやるの?」と言って優しく手を貸してくれず、地域おこし協力隊活動は、自分だけでなく地域の方と一緒に盛り上げていきたいという思いから「共感」が大切だと考えています。全く縁のない地域で、少しずつ知り合いを増やして活動が続け、そして同じ方向を向いて活動に取り組むことができた時に、共感してくれていると実感しました。協力隊としてやりがいを感じ

## 地域の活性化につなげたい

最初、地方の人は外から来た人が行う活動に否定的ではないかと心配しましたが、思い過ごしでした。何かに取り組もうとすると、手を貸してくれず、物品の貸し出しなどにもすぐに応じてくれます。皆さんの協力なくしてイベントは実現できませんでした。

今後は、周辺地域の地域おこし協力隊との交流を通じて、広域的な取り組みにも関わりたいです。そしてその効果を、住みやすさで大きな可能性を持つ東地域に還元していければと考えています。



9月12日、城山公園で「いなかラウンジ」を開催しました。テントによるキャンプの雰囲気と、おいしいコーヒーやスイーツなどで、ピクニック気分を楽しむことができるイベントです。今後は、東地域の自然あふれる場所や市内で定期的に開催していく予定です。



▲「CoderDojo白河」の様子

た瞬間でもありました。表郷に実際に住んで、都市部と違い、虫の鳴き声や田んぼの様子などで季節を感じられることに初めて気がきました。地元の人たちにとって当たり前の毎日が、自分には初めての経験ばかりです。それこそが魅力だと思います。